

# SDGs の取り組み

## 3つの重要課題

# Team



## 1. チーム

- 『オープンイノベーション』 自社開発にこだわらず、大企業との連携を含む産官学連携体制を構築。チーム一丸となって実現を目指す。
- 『3つのダイバーシティ』 「デモグラフィー型」・「タスク型」・「オピニオン」の3つのダイバーシティを推進。意欲のある多種多様な人材を登用することで多角的な視点から課題を解決する
- 『エコシステム』 新しい産業の創出のための社会実証の場として地域社会一体となったエコシステムを構築。

# Environment



## 2. 環境対策

- 『再使用ロケット』 従来型の使い捨てロケットは打ち上げ後1段目を海洋投棄しているが、今後のロケット打ち上げ需要の高まりにより拡大しかねない海洋汚染を、再使用ロケットにより未然に防止する。
- 『クリーン燃料』 ロケット燃料として、温室効果ガスを増加させるケロシンや、毒性の強いヒドラジンの使用を避け、メタンを採用。また、バイオ由来の液化メタンの使用について実証を開始。

# Education



## 3. 教育

- 『産学連携』 国内外の大学との協力体制を構築。実務に基づく生きた教育環境を提供する。これにより、将来にわたって産業を担うエンジニアの育成と技術の継承に貢献する。
- 『実験機会の提供』 最初の商用ロケットでは宇宙空間での科学実験等の実施を予定。リアルな宇宙空間での実験機会を安価で実現することにより、広く質の高い教育の現場を提供する。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。